

「九州大学テニュアトラック制」の実施にかかる テニュアトラック制教員の募集について

平成24年7月13日
九州大学 研究戦略委員会

九州大学では、「九州大学テニュアトラック制」(以下「テニュアトラック制」という。)の実施にあたり、テニュアトラック制教員を募集いたします。

テニュアトラック制は、公正で透明性の高い審査で選抜された優秀な若手研究者が、期限付の雇用形態で自立した研究者として経験を積み、審査を経て安定的な職に就くことができる仕組みを普及・定着させることにより、優れた若手研究者の育成に寄与し、もって本学の研究活動の活性化を図ることを目的としております。

本制度では、テニュアトラック制教員の所属を高等研究院*1とし、当該制度の実際の運用についてはテニュアトラック期間終了後に採用予定の各参加部局により行うものであり、テニュアトラック制教員の実際の研究は、通常教員への採用審査実施予定部局で行うこととしております。

なお、テニュアトラック制教員に対しては、各部局において、自立して研究に専念できるようスペース・設備等の研究環境について配慮することとしております。

また、テニュアトラック期間(5年間*2)の終了までに審査を受け、研究業績等が優秀と認められれば、通常教員として各部局での採用となるものです。

応募の受付は、下記1.部局一覧のとおりです。関連項目を熟読の上、ご応募いただきますようよろしくお願いいたします。

*1 ノーベル賞級の極めて高い研究業績を持つ研究者と次世代を担う優れた若手研究者(テニュアトラック制教員)が部局を超えて集い、高度な研究活動を展開する全学的な組織である。

*2 業績等が極めて優れている場合、資格審査および通常教員への採用を前倒しする可能性がある。

1. 部局一覧

部局名	公募内容		
1 芸術工学研究院	研究分野・募集人数	職名	照会・連絡先
	研究分野：知覚心理学分野 募集人数： 1名	テニュアトラック 期間中： 准教授（特定有期教員） あるいは助教（特定有期教員） テニュアトラック 期間終了後： 准教授	〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1 九州大学芸術工学研究院 デザイン人間科学部門 教授 中島祥好 電話：092-553-4558 または 092-553-4564 ファックス：092-553-4520 電子メール： nakajima@design.kyushu-u.ac.jp
	提出書類		書類提出先
	1) 推薦書1通 2) 履歴書（写真貼付） 3) 教育研究業績書 4) 主要論文の別刷り（3編，各1部，コピー可） 5) これまでの研究・業績の概要（2000字以内） 6) 研究計画（2000字以内） 7) 教育と研究についての抱負（1000字以内） 8) 応募者について意見を伺える方2名以上の氏名（住所，電話，E-mail） ※ 上記2）及び3）の様式は、芸術工学研究院指定の様式により提出を すること。（様式は、以下のホームページよりダウンロードすること。） 九州大学芸術工学研究院ホームページ http://www.design.kyushu-u.ac.jp/kyushu-u/topics/detail?nid=560	〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1 九州大学芸術工学研究院 教授 中島祥好 宛 ※封筒に「九州大学テニュアトラック制教員応募書類」と朱書きの上、 郵便書留にて送付のこと	
内容に関する詳細情報			
<p>九州大学芸術工学研究院では、知覚心理学分野においてテニュアトラック教員（准教授または助教）を募集します。テニュアトラック教員の属する研究グループは、視覚、聴覚、運動知覚、リズム知覚、精神物理学、脳科学等に関心を持ち、人間の知覚と人間が作り出した環境・物・情報との関係を調べる学際的な研究センター設立の構想を持っています。応募者は博士の学位をもち、実験心理学における学問的トレーニングを受けていることが求められます。応募者は、視覚、聴覚、体性感覚における実験を計画し遂行する能力と、学術上の知見を体系化する能力とを、論文出版リストにより示してください。テニュアを得る教員には、異なる分野の学生や研究者との共同研究を行うことが期待されています。</p> <p>テニュアトラック制教員に対しては、採用後の適切な時期に中間審査が行われ、テニュアトラック期間（5年間）の終了までに最終審査が行われます。審査の結果が特に優れていれば、5年間の終了を待たずにテニュアを得ることもあります。</p> <p>テニュアを与えるか否かについて、以下の書類の提出を求め、最終審査を行います。（1）学問的・教育的業績の要約（2）論文等出版リスト（3）学会等発表リスト（4）外部資金のリスト（5）テニュア取得後の研究計画と目標（6）受賞や特許を含む他の業績のリスト</p>			

2. 応募資格

- 1) 博士号取得後10年以内又は同等程度の研究経歴を有すること。
- 2) 下記採用予定期間内に重複して他の研究機関・企業等に所属しないこと。
- 3) 旧科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業による教員等として採用され、当該補助金により人件費又は研究費を補助された経験を有しないこと。

3. 採用予定日

平成24年度内（平成25年3月31日まで）のできるだけ早い時期

4. 待遇

給与及び保険等の諸待遇については、経験等を考慮し本学の関係規程により決定する。

研究費：

- | | | |
|------|------------------------------|--------------|
| 実験系 | 初年度（着任日～平成25年3月31日） | 1,000万円程度を上限 |
| | 2年度目（平成25年4月1日～平成26年3月31日） | 500万円程度を上限 |
| | 3年度目以降（平成26年4月1日～平成29年3月31日） | 年間400万円程度を上限 |
| 非実験系 | 初年度（着任日～平成25年3月31日） | 500万円程度を上限 |
| | 2年度目（平成25年4月1日～平成26年3月31日） | 250万円程度を上限 |
| | 3年度目以降（平成26年4月1日～平成29年3月31日） | 年間200万円程度を上限 |

5. 研究施設および設備の提供

自立して研究が行えるよう、スペース・設備等の研究環境について配慮する。

6. 応募締切：平成24年9月7日（金）17：00必着

7. テニュアトラック審査基準

1) 審査の流れ

審査は各審査部局において、当該部局の委員・外部有識者・高等研究院教員等により構成される審査委員会により行う。

1次審査として、1. 部局一覧に示した提出書類により、業績等について書面審査（ピアレビュー）を行う。2次審査として、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接審査を行う。

2) 審査基準の概要

これまでの研究業績、プレゼンテーション能力、研究への熱意、ポテンシャル等について総合的に判断し、テニュアトラック期間終了後の通常教員への採用が期待されるレベルであるか。

8. 通常教員採用審査基準の概要

テニュアトラック期間における研究業績（学術論文・著書等の量及び質、学会発表・講演の数及び質、外部資金の獲得状況、その他共同研究や知的財産に関する実績等）及び教育に関する資質等がテニュアトラック期間終了後の職位にふさわしいものであるか。

※各部局における詳細な基準については、上記1. 部局一覧「内容に関する詳細情報」の欄を参照すること。

9. その他

- 1) 応募書類は原則として返却しない。
- 2) 面接審査の交通費は原則自己負担とする。
- 3) 本件にかかる問い合わせ先は、上記1. 部局一覧「照会・連絡先」の欄を参照すること。

以 上